

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 8 年度相模原市下水道事業審議会 第 1 回 下水道使用料の見直しに関する調査・研究部会		
事務局 (担当課)		下水道経営課 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 1 8 4 0 (直通)		
開催日時		令和 8 年 8 月 1 9 日 (水) 1 4 時 0 0 分～1 5 時 1 1 分		
開催場所		けやき会館 2 階 中研修室		
出席者	委 員	4 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	8 人 (下水道経営課長、下水道料金課長 他 6 名)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		(1) 部会長の選出について (2) 下水道使用料の見直しについて		

議題 1

部会長の選出について、広田委員から立候補があり承認された。

主な意見

(広田委員)

昨年度に引き続き、部会長に立候補させていただいてよいでしょうか。

《異議等なし》

(事務局)

異議なしのため、新部会長を広田委員にお願いする。

議題 2 下水道使用料の見直しについて

事務局から「資料 下水道使用料の見直しについて」に基づいて説明が行われた。中間報告から、津久井地域の生活排水処理方法の見直しに基づく費用及び流域下水道負担金の推計値について修正を行い、今後10年間の財政収支見通しについて再度説明を行った。

令和8年度第2回下水道事業審議会の説明資料として、当該資料を基に、一部を追加・修正し使用することについて、了承された。具体的な追加・修正内容は次のとおり。

- ・資料構成の変更
- ・収支のイメージ図を追加
- ・参考資料として、下水道使用料の比較資料、基本水量制・使用料体系の説明資料を追加
- ・増減要因について、分かりやすい説明に修正

主な意見

(広田部会長)

資料の流域下水道維持管理負担金について、全国特別重点調査の費用が含まれているとのことだが、国からの補助は出ないのか。

(事務局)

補助は無いが、修繕費に対する起債が認められている。

(青山委員)

令和7年度第3回審議会の資料で示したような、収支のイメージ図を追加してはどうか。

(事務局)

追加する。

(石田委員)

新規の委員に対して行う財政収支見通しの基本的な説明に加え、継続の委員に対して、中間報告からの増加要因について分かりやすい説明を加えた方が良いのではないか。

(広田部会長)

資料の増減要因については、委員が特に理解に苦勞する部分なので、経緯を含めた丁寧な説明が必要である。

(碓井委員)

流域下水道負担金の額は県が決めているのか。市町の意見は反映されているのか。

(事務局)

毎年度、県と流域市町による経営分科会を開催し、流域下水道事業予算について協議の上、決定している。

(広田部会長)

資料の中間報告からの変更点について、どのように説明するのか。

(事務局)

新規の委員もいらっしゃるので、中間報告からの変更点ではなく、増減要因について、丁寧に説明していく。

(広田部会長)

流域下水道負担金が使用料改定の原因であるという印象を持たれないよう、流域下水道の事業内容やメリットについての丁寧な説明が必要である。

(青山委員)

流域下水道に参加しているメリットが働いている根拠として、他市との下水道使用料の比較資料を追加してはどうか。

(事務局)

追加する。

(石田委員)

使用料改定の答申とはどのような内容が記載されるのか。

(事務局)

審議会で議論した内容をまとめたものが答申となるため、自治体により様々である。

(石田委員)

審議会の答申と実際の改定内容が異なる事例はあるか。

(事務局)

他市では事例がある。最終的な改定内容は市が決定する。

(石田委員)

次回審議会の目標は何か。

(事務局)

下水道事業の収支構造と財政収支見通しを丁寧に説明し、使用料改定について諮問することである。

以 上

相模原市下水道事業審議会部会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	あおやま みつお 青山 光男	公益財団法人神奈川県下水道公社		出席
2	いしだ みつなり 石田 三成	東洋大学経済学部 准教授		出席
3	ひろた はるあき 広田 啓朗	武蔵大学経済学部 教授	部会長	出席
4	うすい あつこ 碓井 敦子	日本公認会計士協会神奈川県会		出席